

### Ⅲ 地域との連携

#### 1 交流学習

年間実施一覧			
月	日	曜	内 容 (活動学年)
4	17	月	第1回交流合同研修会
4	19	水	接し方教室 (1・3年)
5	12	金	さつまいもうえ (1・2年)
5	17	水	田植え→19日に延期, 交流はなし
6	1	木	遊び交流① (3年)
6	5	月	農園活動①
6	14	水	オーケストラ演奏会 (全)
6	22	木	音楽鑑賞会 (全)
6	27	火	盲学校探検 (2年)
7	19	水	農園活動②
9	4	月	藹藹会との交流 (5年)
9	26	火	授業交流 (3・5年)
10	4	水	遊び交流② (3年)
10	18	水	稲刈り (全)
11	2	木	古ざくら会と昔遊び交流 (1・2年)
11	8	水	さつまいもほり (1・2年)
11	28	火	ゲームオリエンテーリング (3・5年)
11	30	木	藹藹会との交流 (5年)
12	5	火	しらゆり幼稚園との交流 (1・2年)
1	12	月	交流教育連絡会 (係)
2	23	金	第2回交流合同研修会

本校では年間を通して以下の4つの施設や団体と交流学習を実施している。

- ① 県立盲学校
- ② しらゆり幼稚園
- ③ 社会福祉法人『藹藹会』
- ④ 古ざくら会(地域の老人会)

このうち、県立盲学校と社会福祉法人『藹藹会』、古ざくら会は同じ地域にあり、地域との連携という観点からも欠かすことのできない存在だ。

#### ○ 県立盲学校との交流

「相手の人格を尊重し、思いやりのある心をもって、みんなで協力し合いながら生活できる豊かな子どもを育成する。」という交流教育の目標のもと、43年目を迎える活動である。年間2回、合同の研修会を実施し、1年間の交流がより有意義なものになるよう話し合っている。今年度は、5年生において、年間に3日、居住地交流も行われ、交流活動が欠かせないものとなってきている。

今年度の活動は主に以下のようなものである。

#### ① 接し方教室 (1・3年)

盲学校の先生を講師に招き、1年生と3年生の児童が参加した。接し方について知ったり、体験したりすることで盲学校の児童の気持ちをより身近に感じ、理解することを目的として毎年行っている。

#### ② 音楽鑑賞会 (全学年)

盲学校の友達と共に感動し合うことで、豊かな情操を育むことを目的に、縦割りのなかよし班で交流する。音楽鑑賞と演劇鑑賞を隔年で実施することになっている。本年度は、Brown Blessed Voice をお迎えして、本格的なゴスペルの演奏を聴かせていただいた。

#### ③ なかよし学習 (2・3・5年)・遊び交流学習 (3年)

なかよし学習は、2年生は生活科の学習の一環として、中・高学年は、普通授業と一緒に受けることを基本として、共通の課題をもって活動した。

遊び交流学習では、盲学校の重複障がい児学級の児童と本校の3年生と一緒に活動する。公園で一緒に遊ぶ活動を通して、お互いの友情と理解を深めることをねらいとしている。



#### ④ ゲームオリエンテーリング (3・5学年)

盲学校のさまざまな場所に用意されたゲームを縦割り班ごとにクリアしていく活動である。活動を通して、互いのよさを知り、思いやる心を育み、道徳的実践力を試す機会として大きな役割を果たしている。総合の一環として今年度は3・5年生が活動した。



#### ○ 社会福祉法人『藹藹会』との交流 (5年)

藹藹会との交流は16年度より始まった。5年生が「総合的な学習の時間」の一環として実施した。藹藹会の職員の方から、介護が必要な方や、介護に携わる職員の方々の仕事について児童に説明するところから学習が始まる。その後、児童が施設を見学をさせていただくと同時に、児童と施設利用者がクリスマス飾りを作ったり、演奏を披露したりして交流を楽しんだ。

#### ○ 古ざくら会 (地域老人会) との交流 (1・2年)

生活科の学習活動の一環として実施している。地域のお年寄りから昔遊びを教えていただくことを通して、地域への親近感を育むことができた。小規模特認校として市内全域が学区である本校にとって、自分たちの住む (生活する) 土地に愛着をもつことのひとつの大きなきっかけとなった。また、今年は農園活動やさつまいもうえ、さつまいもほりでもお世話になった。



#### ○ しらゆり幼稚園との交流 (1・2年)

生活科の学習の一環として実施している。2年生がゲームなどを企画し、1年生が学校内を案内しながら様々なゲームにチャレンジしていく。1年生が大きく成長する活動の1つでもある。昨年度に続き今年度もしらゆり幼稚園との交流を行った。

